

コミュニケーション学部報 (2014 年度)

1. 専任教員

教授	池宮正才
	川井良介
	川浦康至 (学部長)
	駒橋恵子
	桜井哲夫
	柴内康文
	関沢英彦
	中村嗣郎
	西垣 通
	長谷川倫子
	本橋哲也
	山田晴通
	渡辺 潤
准教授	遠藤 愛
	大榎 淳
	北村 智
	北山 聡
	佐々木裕一 (教務主任)
	深山直子
	ピーター・ロス
専任講師	阿部弘樹
	松永智子
	光岡寿郎

2. 客員教授

春風亭柳橋
中村理恵子

3. 特任講師

草野ハベル清子

4. 非常勤講師

安高紀子
井上俊也
エバノフ恵智子
遠藤大輔
大谷安宏
大野 茂
河原啓子
小出裕子
佐々木良輔
鈴木麻利子
曾根和子
濱野智史
堀 正
ジョン・マクグラス
松本健太郎
三橋順子
山家誠一
吉岡真弓
吉田 達

5. 卒業制作・卒業論文表彰

最優秀賞 (1点)

中陳香織 「がん患者が自らを受容する過程
はどのようなものか—がんサバイバーシップの
視点から」

優秀賞 (9点)

尾辻彩花 「『小さな世界』で生きる若者たち」
丸岡千草・片桐紗衣・額谷知美 映像制作
「星室」

原田麻衣子『『町田エイサー青海波』に見る東京におけるエイサーの発展』

玉腰美貴「コンピュータゲームの物語性付加と社会的適応進化」

植村恵太「テニスのフットワークにおける有効なトレーニング方法」

村上理沙「テレビ広告の表現及びメディア利用状況によるインターネット検索行動の変化」

長谷川遥「ファンタジーとリアリティーによる少女マンガの分類試論」

中野瑛絵 ラジオ詩劇「夜の図書館」

川合健悟「新宿と渋谷」

【参考】 これまでの「卒業制作・卒業論文」表彰

・2013 年度

最優秀賞 (2 点)

伊東歩夏 小説「ネットゲームラバーズ」

伊藤さつき・松本紗季・玉田里加子 アニメーション「ぼくらのうた」

優秀賞 (8 点)

茂呂佳明「日本のギャンブル事情と依存症の関係性」

岩崎麻子「カスタマイズ文化からみる人々の嗜好の変化」

遠藤亮太 絵本『顔のない母親』

林 真鈴「ハンドメイド・マーケットプレイス—手作り品の市場はなぜ発展したのか」

山田怜奈「シチュエーションによる化粧行動研究」

近藤綾香「Twitter における『バズ』とその拡散性」

幸野真也「現代日本の新宗教に対する一考察—ライフヒストリー研究から」

劉 曉 波 A Contrastive analysis of attributive clauses in English and Japanese

・2012 年度

最優秀賞 (1 点)

野口翔平「アニメ聖地巡礼者の巡礼動機—立川市と大町市における巡礼者に対する調査事例から」

優秀賞 (8 点)

高橋一真 映像「東京経済大学バスケットボール部」

丸山裕香「VOCALOID『初音ミク』が成長した理由と今後の展望」

埜田 茜「手話と聴覚障害者—言語的少数者としての視点から」

小川瑠美「アニラジ (アニメラジオ) と深夜放送」

笠原亮多朗「なぜ人は Twitter に惹かれるのか？」

小池清志「韓国ドラマと K-POP の人気に関する一考察」

當田良知・渡辺裕也・野村陽平 映像「Capella—カペラ」

鯨井 彩「SWINGING LONDON が日本にもたらしたのもの—ミニスカートブームとは何だったのか」